

Girl's

優勝 吉澤柚花里(ミキハウスJBC)



回転量の多い両ハンドドライブがよく、相手のミスを利用した。



伊藤百華(ヴィスオコトガタ) フォアハンドに威力があり、ラリー戦にも驚くミスが少なかった。



伊藤みらい(イキモト興業) 横打で強い時は、少し打点を強とし、バックハンドを打つなど、局面に対応する術を学んだ。



中森帆南(ミキハウスJBC) 打点が早く、得点率の高いフォアハンド攻撃がよかった。

Boy's

優勝 橋塚大登(東工大附属中)



深田一輝(東工大附属中) フォアワークを活かし、積極的にフォアハンドで攻撃を展開、相手を打ち倒した。



ボールタッチが鋭く、カウンタープレーも随所に決まっていた。



田原翔太(明豊) 力強いシングルの両ハンド攻撃は威力があり、コースを打ち分け得点を重ねた。



原田春輝(石田卓球クラブ) 回転の強い重いカットと攻撃のバランスが良く、相手を打ち倒した。

2017 平成29年度 JOCジュニア オリンピックカップ 全日本選手権大会 (カデットの部) 11月10~12日 熊本県立総合体育館

「JOCジュニアオリンピックカップ」が今年度は全日本選手権大会(カデットの部)が、11月10~12日まで、熊本県立総合体育館で行われた。
14歳以下男子シングルスは、橋塚大登(東工大附属中)、13歳以下は吉山椋一(TC中興)、14歳以下女子シングルスは、吉澤柚花里(ミキハウスJBC)、13歳以下は、大塚沙月(ミキハウスJBC)がそれぞれ優勝した。
またダブルスでは、男子が濱田輝と橋塚大登(東工大附属中)、女子が吉澤柚花里と大塚沙月(ミキハウス)

優勝 大塚沙月(ミキハウスJBC)



インパクトが強く、両ハンド攻撃は威力十分



小指運菜(石田卓球クラブ) カットの切り返しは特長で、自ら変化をつけるなど、Dがめかカットで積極的の攻撃を仕掛けた。



大久保ひかり(改学クラブ) 丁寧なカットで、ミスが少なく粘り強いプレーをみせた。

吉井亜紀(敬愛中) ミスの少ない安定した両ハンド攻撃で、ドライブの回転も多かった。

優勝 吉山椋一(TC中興)



徳田幹太(野田学園中) ショットと鋭い両ハンド攻撃で、ドライブのコースも良かった。



前出陸壮(敬生TTC) アグレッシブな攻撃を仕掛、ミート打ち、ドライブの攻撃を使い分けた。



高次のスイングとミスの少ないスタイルで勝ち進み、初優勝

Doubles Girl's

優勝 吉澤柚花里・大塚沙月(ミキハウスJBC)



ショットと回転量があり、ドライブをコーナーに打ち分けた。

準優勝 中森帆南・萩井菜津子(ミキハウスJBC)



打点の早い攻撃で、スピーディーなプレーをみせた。

Doubles Boy's

優勝 深田一輝・橋塚大登(東工大附属中)



相手コースを空かせない両ハンド攻撃がよかった。



強いボールもショットも打ち分け、コンビネーションも良かった。